

こども本の森 札幌・北大 名誉館長就任ごあいさつ

できたばかりのオーケストラへ入団するために、東京から楽器を抱えた母が札幌へやってきてから60年。演奏会が忙しく、留守番ばかりの私の心細さを支えてくれたのが、北海道の大自然と本でした。

学校から帰ってくると私の過ごす場所は図書館か、森や川。幼い私にとって、大自然も図書館も、どんなに奥へ奥へと分け入っても、まだその先が続く広大な宇宙のようなものでした。

昨今、私たちは進化したテクノロジーを通じて、辛い思いをせずに生きるのが得意になりました。知りたい情報も苦勞せずに取得できますし、知性や想像力を特に駆使しなくても、なんとなく日々を過ごせる術を身につけています。そんな時世において、人間の特性である考えるという能力を損なわずに生きていくための、不可欠な栄養を与えてくれる図書館は、これからも守り抜いていかなければならない場所となるでしょう。

北海道の大自然と本は幼少期の私を支えてくれた礎であり、たくさんのご恩があります。「こども本の森 札幌・北大」の名誉館長の就任は、私にとってその恩返しであり、本に潜む生命力に満ちたエネルギーを多くの方達と分かち合うために、尽力させていただきたいと思っております。

令和8年1月30日

こども本の森 札幌・北大名誉館長
漫画家・文筆家・画家 ヤマザキマリ



Photo_ノザワヒロミチ